

多摩情報教育システム (tedu2025)

ユーザマニュアル

Microsoft365 使用上の注意点

Rev 1.0

2025年3月10日

多摩情報センター

目次

1. はじめに	3
1.1. 本書の目的.....	3
1.2. 本書の記載範囲	3
2. Microsoft365 ソフトウェア使用時の注意点.....	4
2.1. Microsoft365 へのサインイン	4
2.1.1. 認証情報の保持について.....	5
2.1.2. 未使用期間が 30 日を超えた場合について.....	6

来歴

項番	版数	変更日	変更ページ	変更内容
1	1.0	2025年03月7日		新規作成

<他社所有商標に対する表示>

- Microsoft365 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

1. はじめに

1.1. 本書の目的

本資料は、多摩情報教育システム(tedu2025)の Windows 端末において Microsoft365 を使用するにあたり、Microsoft365 サインインおよび注意点を記載したものです。

1.2. 本書の記載範囲

表 1.2-1 記載範囲

#	章名	範囲
1	Microsoft365 へのサインインについて	Microsoft365 ソフトウェアのいずれかを初回使用する際に行うサインインの手順及び注意点を記載します。
	1 認証情報の保持について	個人領域に保持される認証情報に対する注意点を記載します。
	2 未使用期間が30日を超えた場合について	利用者が Microsoft365 ソフトウェアを 30 日間使用しなかった場合の注意点を記載します。

2. Microsoft365 ソフトウェア使用時の注意点

2.1. Microsoft365 へのサインイン

はじめて Microsoft365 ソフトウェアを利用する場合、Microsoft365 のパスワードリセットを必ず実施し、Microsoft365 専用のパスワードを新しく設定する必要があります。以下 URL に記載の「はじめて Microsoft 365 Apps for enterprise を利用する」を参照し、Microsoft365 のパスワードリセットを実施ください。

https://software.k.hosei.ac.jp/Microsoft365Apps_for_enterprise_Windows_Manual.pdf

多摩情報教育システム(tedu2025)にて Microsoft365 ソフトウェアを起動すると、初回使用時は Microsoft365 のサインイン画面が表示されるので、法政大学専用 Gmail と Microsoft365 専用のパスワードを使用してサインインを行う必要があります。サインイン手順については表 1.3-1 Microsoft サインインを参照し実施ください。なお、2 回目以降は認証情報が個人領域に保持されるため、サインイン画面をスキップして Microsoft365 ソフトウェアを利用することができます。

なお、貸出ノート PC に関しては、再起動によってサインイン情報が消去されるため、都度 表 1.3-1 Microsoft サインインを実施する必要があります。

表 2.1-1 Microsoft サインイン
※ Word や Excel などソフトウェアによって色は異なります。

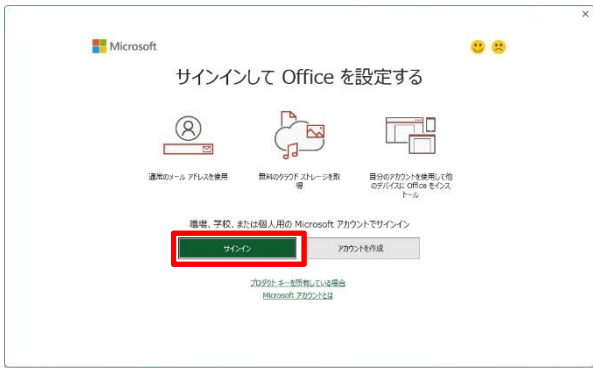
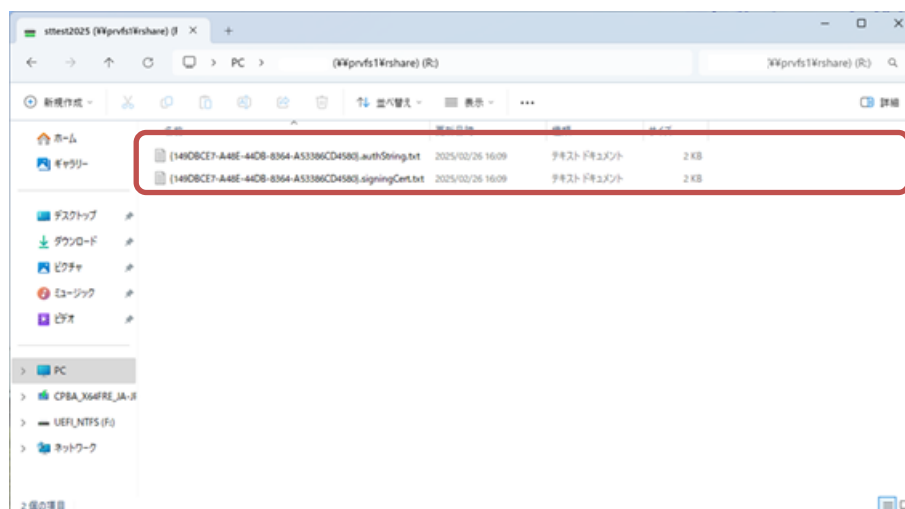
#	画面	操作
1		「サインイン」をクリックします。

図 2.1-3 (参考)個人領域に認証情報が格納される例



2.1.2. 未使用期間が 30 日を超えた場合について

多摩情報教育システム(tedu2025)にて Microsoft365 ソフトウェアの未使用期間が 30 日を超えてしまうと、Microsoft365 ソフトウェア起動時に、サインイン画面が表示されるので表 2.1-4 Microsoft サインインに従い、サインインを実施してください。

— 以上 —